

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09030181

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	3	水産業の振興	事業優先度	C		
単位施策	2	経営基盤の強化	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	不要魚礁撤去事業		見直し年度	平成27年度		
事業期間	平成26年度～平成27年度		担当課	9	産業振興課	
事業主体	雄武漁業協同組合		関係課	#N/A		
事業指標	調査・検討の実施		ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
事業目標	一式		関係例規・法令名			
住民参加	無		関係個別計画名			
住民協働						

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	現在のほたて操業海域に、過去に放置されたとされる魚礁により、漁具(桁網)の損傷が相次いでいるため、調査・検討のうえ撤去作業を実施する。		魚礁箇所の範囲・数量特定調査	撤去方法調査・検討		
計 画 事 業 費	事業費(千円)	0	0	0	0	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	0				
実 績 事 業 費	事業費(千円)	0	0	0	0	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	0				
関 連 事 項	特定財源の名称	【評価・実績】	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) 調査実施 ※事務事業評価結果 A-継続/拡充	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) ※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値		調査実施 一式		
	第6期計画への継続 (継続無し)	年度達成率	#DIV/0!		#DIV/0!	#DIV/0!
		全体達成率	#DIV/0!		#DIV/0!	#DIV/0!
		事業進捗状況				

事業名	不要魚礁撤去事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田和幸
		評価者 作成者 職氏名	産業振興課長補佐	安井雅憲

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	漁業者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	調査実施一式	
【抱える課題やニーズは】	過去に放置された不要魚礁の存在により、ほたて操業の生産性及び安全性の障害となっている。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	不要魚礁の計画的な撤去	① 調査実施一式	目標年度	平成26年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	ほたて操業による水揚げが向上し、安全な操業を目指す。		目標値	100%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	状況把握	漁協が行う調査結果の報告を受けた。	実績値	100%
			達成度	100.0%
			②	目標年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0!%

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	本町の主要魚種の一つであるほたての操業にあたり、生産性向上と安全性の確保を行う漁協の取組みへの支援は重要施策である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	マルチビーム工法により、海底の3D映像装置により、次年度以降に行う撤去計画が立てられている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	不要魚礁の存在が未確定であったため、調査実施において町の支援は行っていない。事業主体において、費用負担が低く効果的な調査方法を選定している。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	調査費用は事業主体のみが負担している。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
	A	
	調査実施により、次年度以降の計画立案につなげ、当初の予定どおり撤去作業を進めていく見通しがついた。	

今後の展開方向
(Action)

	継続/拡充	
	調査実施により、次年度以降の計画立案につなげ、当初の予定どおり撤去作業を進めていく見通しがついた。	

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止